



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
 e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp



会長／南 信行 幹事／若麻績信昭 クラブ会報委員長／西沢 徹
 SAA／飯田 弘己 副 SAA／宮原 友昭

第1458回例会2017年（平成29年）12月22日（金）

ロータリー：変化をもたらす ROTARY：MAKING A DIFFERENCE

会長挨拶

南 信行会長

ロータリーソング「奉仕の理想」誕生秘話
 1930年代の日本では、ロータリークラブの本部がアメリカにあることから秘密結社やスパイと疑われ右翼団体や軍部から再三にわたり嫌がらせや干渉を受けることとなります。クラブ旗の隣に国旗を掲げ月初めに国歌を斉唱するという現在ではごく普通の例会風景は、実は国家への忠誠を示すために考えられた歴史的な名残りなのです。同じ背景の下、1935年京都での地区大会で「奉仕の理想」「我々の生業」他の日本語によるロータリーソングが発表されました。新ソング選考に当たり「奉仕の理想」の歌詞の中で「世界に捧げん」とあったのを「御国に捧げん」と変えるよう、作詞の前田和一郎氏（京都ロータリー）は時のガバナー村田省蔵から説得され、涙を吞んで変更を承認しました。戦後、亡くなられる前の病床での手記の中に「御国に捧げん我々の生業は、富国強兵の当時どのクラブでも好評であった。しかし今や我が国は平和国家と成ったのだから、世界に捧げん我々の生業に戻していただければ有り難い」と語っています。

私は前から、ロータリーは他の団体と違い、ナショナリズム的発想はないのだと言ってきましたが、本日の話で少しでも理解していただければと思います。

幹事報告

若麻績信昭幹事

* 第6回クラブ協議会報告

- ・12月29日定款に基づく休会。新年初例会は、1月5日。初例会にて、次年度役員理事は年次総会にて、すでに発表済ですが合わせて委員長を発表。該当の方は、ご出席をお願いします。例会場は2階弥生の間となっています。
- ・12月27日～1月3日事務所休み。緊急連絡は幹事まで。
- ・世界寺子屋キャンペーン書き損じ葉書、未使用切手回収運動にご協力ください。
- ・1月26日創立記念例会 於：ます栄 18:30～創立記念例会前に第一回予定者会議開催します。
- ・北信第1グループのIM・会員セミナーが2月10日に長野 RC ホストでホテル国際21で開催されます。駐車場に限りがありますのでできるだけ公共交通機関、または乗合でお越し下さい。
- ・ミールケアの関 幸博さんから仕事繁忙につき例会出席が難しいとのことで交代会員の推薦がありクラブ協議会にて了承されました。1月から小山亮一さんが入会予定です。よろしく願います。

1 / 5 本日のプログラム

新年初例会
 会員卓話 布施慶典会長エレクト

- ・井上明彦さん☆2017年感動と感謝でしめます。良い年をお迎え下さい。
- ・高井 亘さん☆中島先生卓話をよろしく願います。

・合計 6,500円 ・累計 418,561円



奉仕の理想斉唱

奉仕の理想 1935年

作詞 元京都RC 前田和一郎
作曲 元東京RC 萩原 英一

奉仕の理想に集いし友よ

御国に捧げん我等の業

望むは世界の久遠の平和

めぐる歯車いや輝きて

永久に栄えよ

我等のロータリー ロータリー

例会案内

- 1月12日 例会場：2階弥生の間
会員卓話 池田修平さん
「暦をもう一度」
- 1月19日 ゲスト卓話 中谷友子さん
「笑いヨガ」

会員卓話 中島 勉さん

「認知症が良くわかる」



2025年には団塊の世代が75歳以上となり、認知症は高齢とともに増えていくので今後は認知症の人がさらに増えていくと思われます。認知症は意外とよくわかっていない病気の一つと思われ

れます。認知症の診断は、およそ症状によりできます。正常の人が、出来事自体を忘れてしまう事や判断能力の低下が起きてきたときには考えなければなりません。診断は、詳しくは記憶力テストや時計描画テストなどや頭部CT、血液検査にてされます。

認知症は症状により三つに大きく分かります。一つ目はとてもおとなしいタイプです。紳士淑女であります。

二つ目は、おとなしいのですが、幻覚があったり、うつ状態になったり、被害妄想が強かったりします。被害妄想が強ければ介護者は大変つらい思いをします。

三つ目はとても元気なタイプです。暴言、暴力、時に万引きを起こします。三つ目のタイプが家族や医療者が一番困るタイプです。このような患者に対応するには専門的な力を必要とします。

治療に当たって注意すべき点は、認知症の薬で逆に症状の悪化が見られることがあることです。特にアリセプト（ドノペジル）と言われる薬は怒りや歩行障害、食欲不振などを起こすことがあります。薬による症状の悪化が病気の進行と診断される危険性があるのです。この場合は薬を止めると症状は改善します。症状が改善しない場合は抑制剤（向精神薬など）が必要になります。薬を適切に使うことにより多くの場合は症状が改善します。

介護にあたっての注意点は、認知症の人は自分は病気ではないと思っていますので、説得は効果がないことです。聞くことに徹したり、笑顔で対応することが最善の事があります。対応は、近くの包括支援センターや、医院や病院の職員に相談してみましょう。家族だけで認知症の患者に対応することは介護疲労を起こして危険です。